

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ココペリ 上場取引所 東  
コード番号 4167 URL https://www.kokopelli-inc.com  
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)近藤繁  
問合せ先責任者 (役職名)執行役員コーポレート事業部ゼネラルマネージャー (氏名)馬庭興平 (TEL)03(6261)4091  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	929	—	0	—	0	—	△12	—
2023年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △12百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△1.64	—
2023年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 2023年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,203	1,815	80.8
2023年3月期	2,204	1,820	81.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,780百万円 2023年3月期 1,789百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	18.2	100	56.5	99	52.0	38	79.6	4.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	7,916,230株	2023年3月期	7,911,230株
2024年3月期2Q	102,573株	2023年3月期	103,973株
2024年3月期2Q	7,809,936株	2023年3月期2Q	7,845,807株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法について)

当社は、2023年11月14日(火)に決算補足説明資料を当社のウェブサイト公開します。また、決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進む一方で、ロシアのウクライナ侵攻による資源・原材料価格の高騰や円安の進行、急激な物価上昇等もあり先行きは不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当社グループは、中小企業DX(デジタルトランスフォーメーション)支援プラットフォーム「Big Advance (ビッグアドバンス)」を提供し、日本全国の地域金融機関と連携し、各金融機関の取引先の中小企業に対して、課題解決や成長支援につながるソリューションを提供しております。

当社グループが提供するDX支援プラットフォーム「Big Advance」は、オンラインにて、地域を超えた全国の企業とのビジネスマッチング、ホームページ作成、社内コミュニケーションツールとしての社内チャット及び全国の補助金・助成金の情報の提供などを通じて中小企業のDXの実現を支援しております。2023年1月には、インボイス制度、電子帳簿保存法に対応した請求書発行、帳票受取が可能な「ちゃんと請求書」をリリースし、更なる機能強化に取り組んでおります。

2018年4月にリリースして以来、「Big Advance」を導入する金融機関数85社、その顧客である中小企業会員数66,911社となりました(2023年9月30日時点)。

また、中小企業向けに補助金活用コンサルティングを提供しており、補助金を通じた中小企業支援を行う提携金融機関を増やし、一層の業況拡大を図っております。

一方、当連結会計年度は中期経営計画で示した通り、ユーザー数拡大や顧客単価向上のための新機能・新サービス開発等の成長投資を引き続き行うこととしており、新機能・サービスの開発を実施してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は929,314千円となり、営業利益は9千円、経常利益は852千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は12,806千円となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、ビジネスプラットフォーム事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ17,221千円減少し、1,629,711千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が22,793千円増加し、前払費用が35,722千円増加した一方で、現金及び預金が58,613千円減少し、未収入金が22,405千円減少したことによるものです。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べ15,845千円増加し、573,324千円となりました。これは主に、「Big Advance」の開発費用としてその他(無形固定資産)が54,229千円増加した一方で、償却によりのれんが26,126千円減少したことによるものです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ29,316千円増加し、275,616千円となりました。これは主に、未払法人税等が11,938千円増加したこと、未払費用が17,334千円増加したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ25,589千円減少し112,253千円となりました。これは主に、長期借入金が返済により24,978千円減少したことによるものです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,103千円減少し、1,815,165千円となりました。これは主に、利益剰余金が13,434千円減少したこと、新株予約権が3,616千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ62,458千円減少し、1,427,480千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は42,887千円となりました。資金の増加要因は主に、減価償却費40,004千円を計上したこと、のれんの償却26,126千円を計上したことであり、資金の減少要因は主に、売上債権が22,793千円増加したことあります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は85,905千円となりました。これは主に、「Big Advance」の開発のための無形固定資産の取得による支出84,475千円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は19,440千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出20,457千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想から修正はありません。

また、2003年10月26日に開示致しました、キー・ポイント株式会社の株式取得による2024年3月期の当社業績に与える影響については、現在精査中であり、開示の必要性が生じた場合には、速やかに開示致します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,486,093	1,427,480
売掛金及び契約資産	90,246	113,039
前払費用	27,029	62,751
未収入金	36,481	14,075
その他	7,862	13,385
貸倒引当金	△780	△1,021
流動資産合計	1,646,932	1,629,711
固定資産		
有形固定資産	91,243	89,746
無形固定資産		
のれん	243,843	217,717
その他	144,618	198,848
無形固定資産合計	388,462	416,566
投資その他の資産		
その他	78,150	67,389
貸倒引当金	△378	△378
投資その他の資産合計	77,772	67,011
固定資産合計	557,478	573,324
資産合計	2,204,411	2,203,035
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,138	65,488
未払費用	56,433	73,767
1年内返済予定の長期借入金	41,309	45,830
未払法人税等	13,305	25,244
契約負債	24,249	20,390
賞与引当金	807	991
その他	103,056	43,903
流動負債合計	246,300	275,616
固定負債		
長期借入金	134,783	109,805
その他	3,060	2,448
固定負債合計	137,843	112,253
負債合計	384,143	387,870

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	810,820	812,355
資本剰余金	785,120	786,655
利益剰余金	277,678	264,243
自己株式	△84,440	△83,303
自己株式申込証拠金	—	508
株主資本合計	1,789,178	1,780,458
新株予約権	31,089	34,706
純資産合計	1,820,268	1,815,165
負債純資産合計	2,204,411	2,203,035

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	929,314
売上原価	456,403
売上総利益	472,911
販売費及び一般管理費	472,901
営業利益	9
営業外収益	
受取利息及び配当金	7
償却債権取立益	80
受取手数料	726
雑収入	927
営業外収益合計	1,741
営業外費用	
支払利息	752
雑損失	146
営業外費用合計	898
経常利益	852
特別利益	
新株予約権戻入益	3,475
事業譲渡益	2,000
特別利益合計	5,475
特別損失	
固定資産除却損	1,720
特別損失合計	1,720
税金等調整前四半期純利益	4,607
法人税等	17,413
四半期純損失(△)	△12,806
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,806

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△12,806
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
四半期包括利益	△12,806
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,806
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	4,607
減価償却費	40,004
のれん償却額	26,126
固定資産除却損	1,720
受取利息	△7
支払利息	752
株式報酬費用	5,593
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,793
仕入債務の増減額 (△は減少)	58,349
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,023
その他	△71,780
小計	44,596
利息の受取額	7
利息の支払額	△746
法人税等の支払額	△969
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>42,887</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△8,262
無形固定資産の取得による支出	△84,475
敷金の差入による支出	△1,583
事業譲渡による収入	8,416
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△85,905</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△20,457
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	508
自己株式申込証拠金による収入	508
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△19,440</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△62,458</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,489,938
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,427,480</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。